bluememe

MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS

2027年３月期　第２四半期決算説明資料

2026年11月13日

目次

01	会社概要	03
02	2027年3月期 第２四半期業績	08
03	事業拡大に向けた戦略	13
04	2027年3月期通期業績予想	16
05	取組施策	18

© BlueMeme Group

1

会社概要

bluememe

© BlueMeme Group

BlueMemeの企業理念

新たな価値を創造し、常識を変え、
文化を進化させる

ブルー　　ミーム

Blue　Meme

光り輝く　　文化を伝える意伝子

当社の社名であるBlueMemeは、「光り輝く」という語源をもつ「Blue（ブルー）」と、文化を形成する情報を伝える意伝子を意味する「Meme（ミーム）」という二つの単語から構成されており、これまでの常識に囚われることなく、新しい文化を形成するための新しい価値の創造を目指していくという、強い理念を込めております。

© BlueMeme Group

BlueMemeのミッション

ミッション

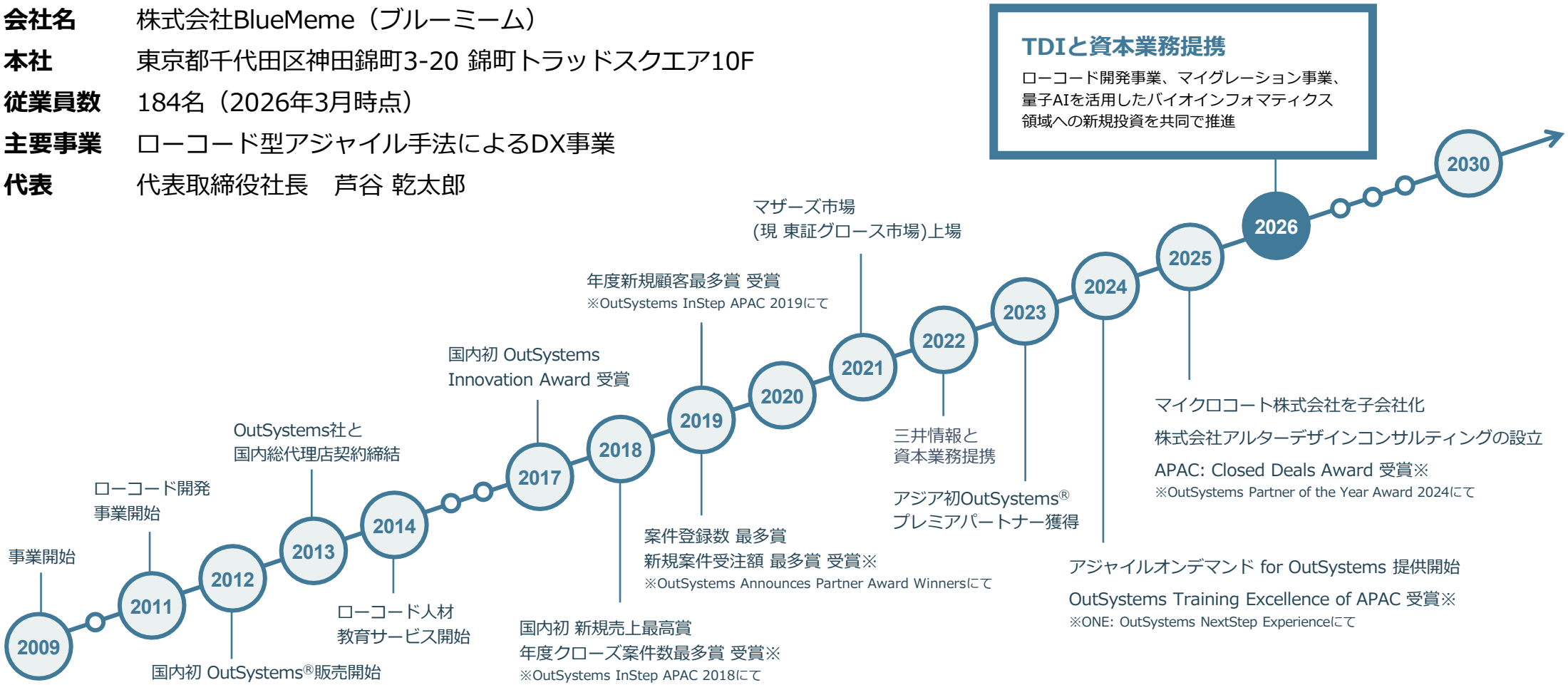
最新技術を活用した企業競争力の向上

先端技術と実装力で日本企業の組織そのものを進化させ、持続的な国際競争力を協創する。

bluememe MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS © BlueMeme Group

創業から今日にいたるまでの沿革

会社名	株式会社BlueMeme（ブルーミーム）
本社	東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア10F
従業員数	184名（2026年3月時点）
主要事業	ローコード型アジャイル手法によるDX事業
代表	代表取締役社長　芦谷 乾太郎



© BlueMeme Group

経営陣のご紹介

bluememe
MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS

**ローコードを中心に
自動化技術を活用した
次世代型のシステム開発を
実現するIT企業**

株式会社 BlueMeme （カブシキガイシャ ブルーミーム）

所在地

東京：千代田区神田錦町
東京分社：港区西新橋
福岡：福岡市博多区博多駅前
熊本：熊本市西区春日
沖縄：浦添市港川

グループ会社

株式会社OpenModels
株式会社BlueMeme Partners
マイクロコート株式会社
株式会社アルターデザインコンサルティング



芦谷 乾太郎
代表取締役社長

株式会社日本コンピューター・サービス・センター（現TDI株式会社）に入社後、システム開発およびSI事業の責任者として事業運営に従事。取締役兼上席執行役員として開発本部長等を歴任し、人財開発や監査業務にも携わる。退任後は同社顧問を経て、2026年4月に当社入社。同年6月に取締役に就任し、9月より現職。



雄鹿 基明
取締役

エンジニアリング系ソフトウェアベンダーにて、システム開発に従事。2016年にBlueMemeに入社し、当社の研究開発及び技術全般を主導。当社研究開発本部 本部長を経て、2026年6月より現職。

© BlueMeme Group

2

2027年3月期 第２四半期業績

bluememe

© BlueMeme Group

2027年3月期 第2四半期連結 決算ハイライト

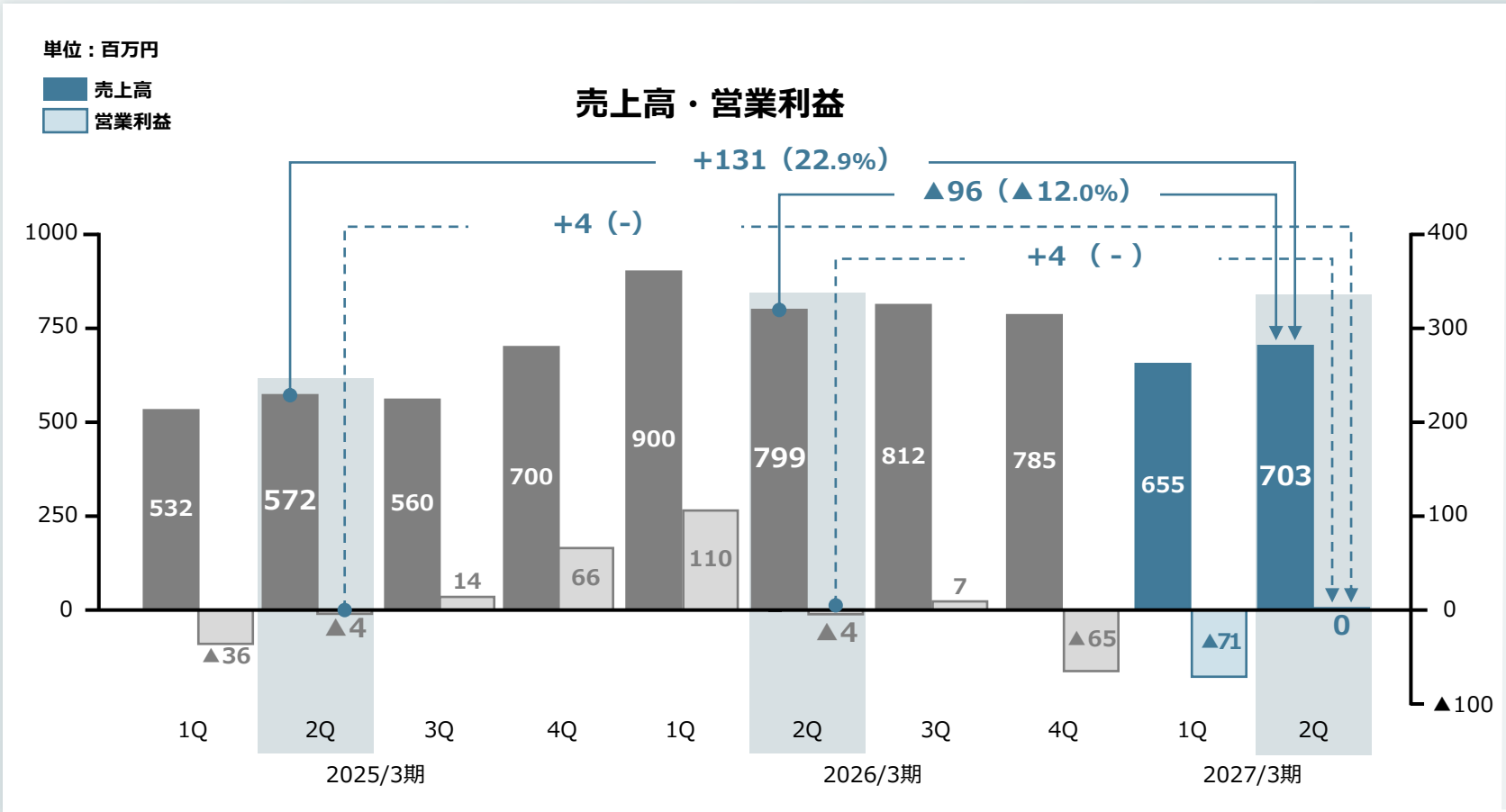
- **売上高は1,358百万円（前年同期比▲342百万円、▲20.1%）、通期計画に対する達成率は52.2%**
- **営業利益▲71百万円(前年同期比▲177百万円)減収により損失計上**

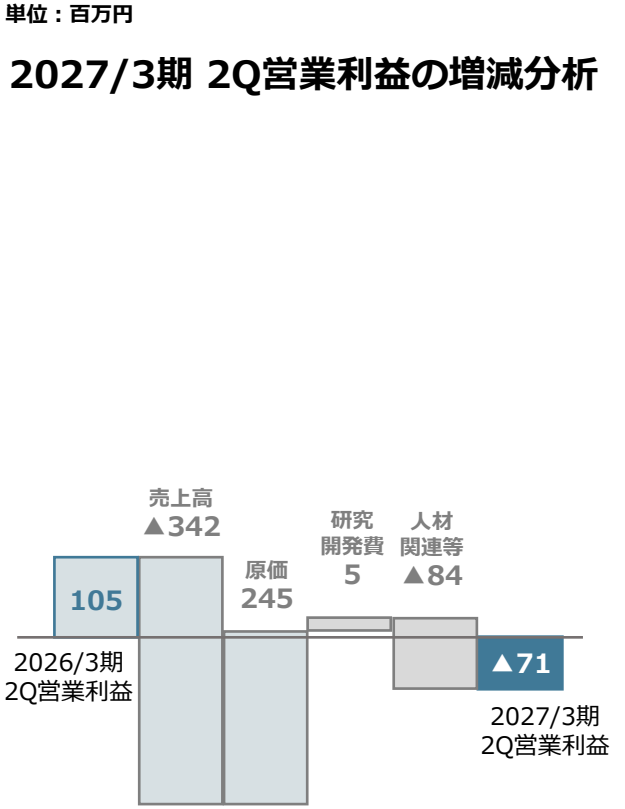
	2026/3期 第2四半期	2027/3期 第2四半期	増減額	対前年比	2027/3期 計画	達成率
売上高	17.00億円	**13.58億円**	▲3.42億円	**79.9%**	26.00億円	**52.2%**
プロフォーマ EBITDA	2.29億円	**▲0.00億円**	▲2.29億円	―	2.24億円	―
営業利益	1.05億円	**▲0.71億円**	▲1.77億円	―	0.30億円	―
経常利益	1.04億円	**▲0.69億円**	▲1.74億円	―	0.30億円	―
親会社株主に帰属する当期純利益	0.63億円	**▲5.07億円**	▲5.70億円	―	▲4.00億円	―

bluememe MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS © BlueMeme Group

業績推移・営業利益増減分析

- 売上高は前年同期比▲342百万円、第2四半期単独では703百万円(前年同期に対し▲96百万円)で、減収幅は第1四半期より縮小
- 営業利益の増減要因は、売上高▲342百万円、原価減245百万円で一部を補ったが、下期の先行投資として人材関連費等84百万円増

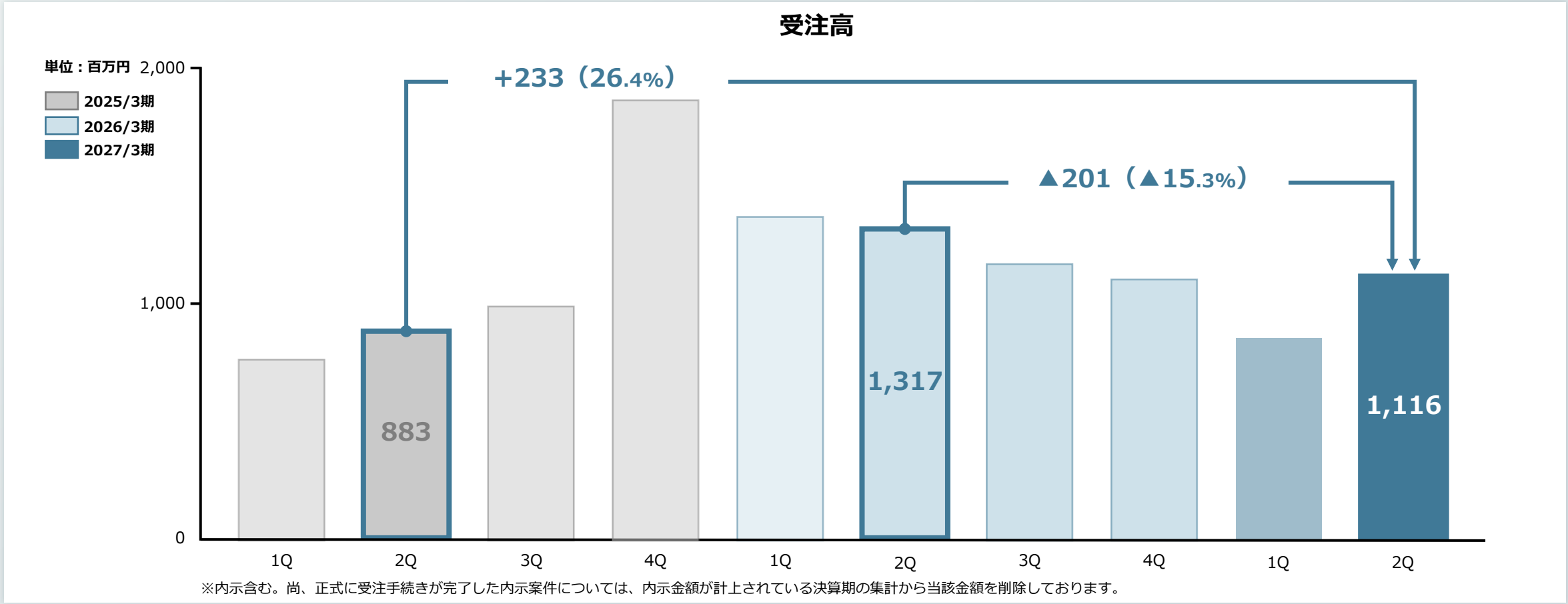




© BlueMeme Group

受注高の推移

- **第2四半期受注高は1,116百万円で、前年同期比▲201百万円（▲15.3%）、前年の大型案件の反動で前年同期比は減少**
- **2年前の同期比では+233百万円（+26.4%）**

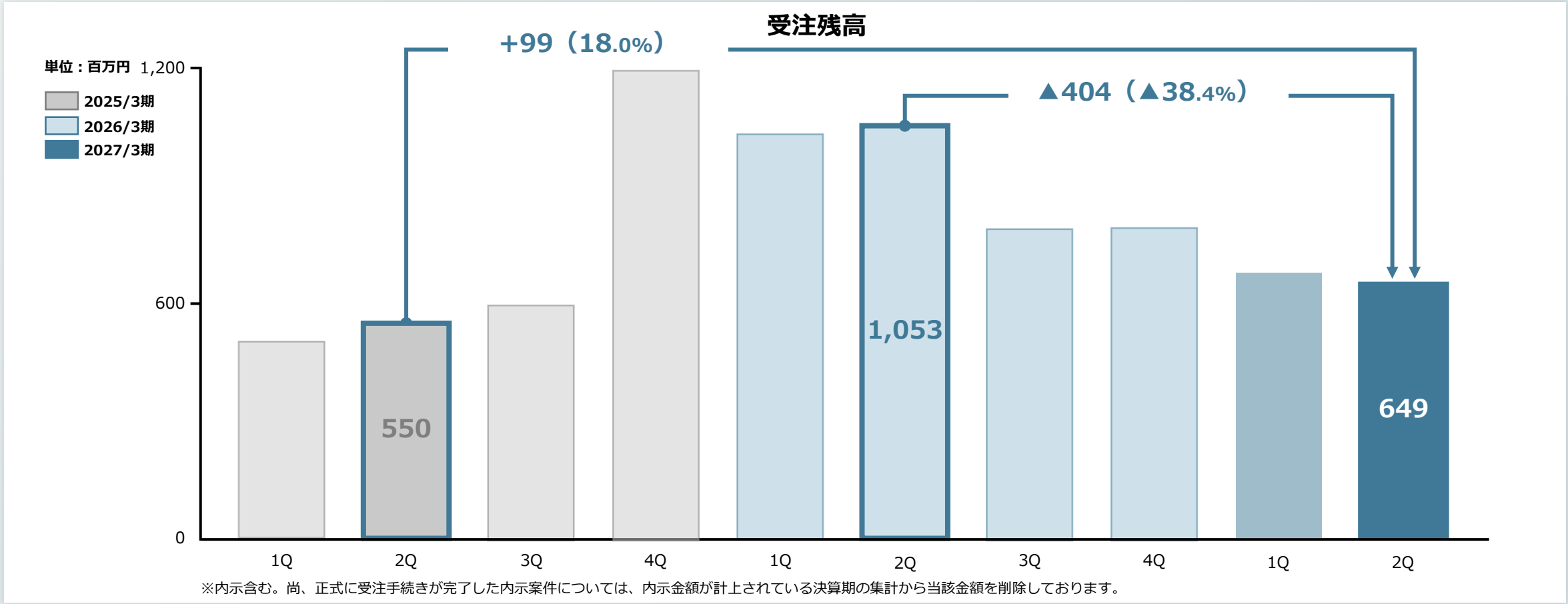


※内示含む。尚、正式に受注手続きが完了した内示案件については、内示金額が計上されている決算期の集計から当該金額を削除しております。

bluememe MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS © BlueMeme Group

受注残高の推移

- **受注残高649百万円は、下期売上必要額の52.3%相当**
- **目標値の2,600百万円−上期の1,358百万円=1,242百万円、残る約593百万円は下期の新規受注・短期案件で確保する必要**

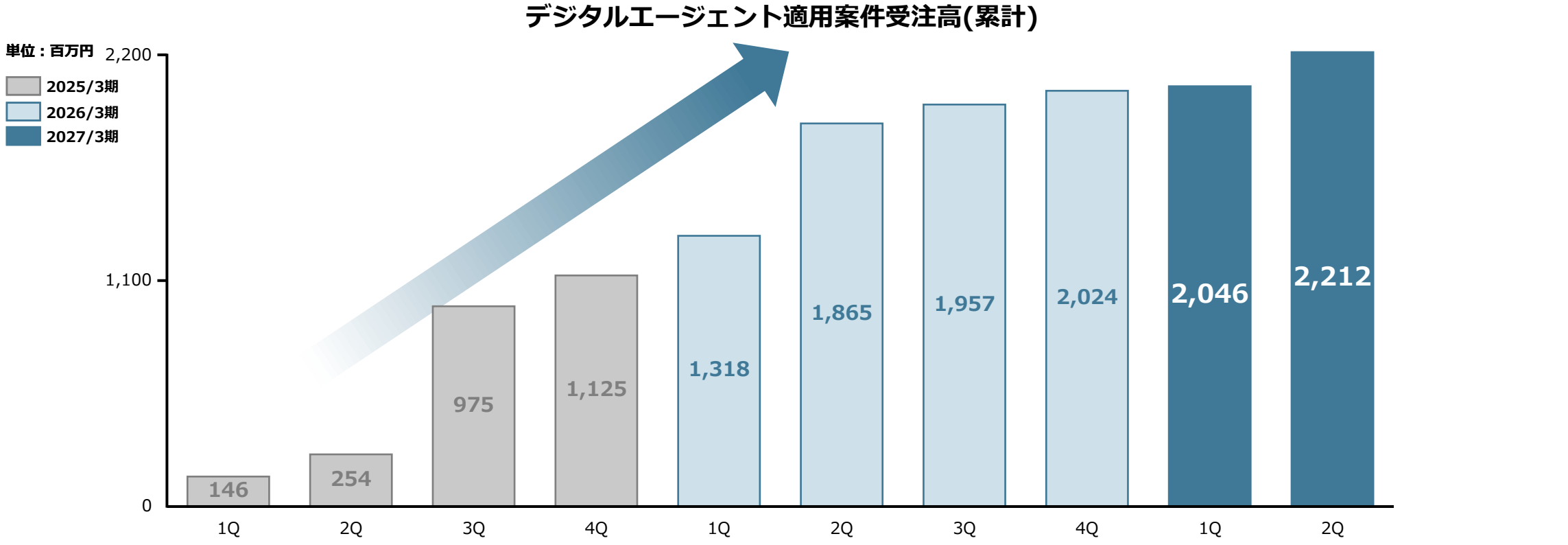


※内示含む。尚、正式に受注手続きが完了した内示案件については、内示金額が計上されている決算期の集計から当該金額を削除しております。

bluememe MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS © BlueMeme Group

デジタルエージェントの実案件適用状況

- **適用案件受注高（累計）は2,212百万円で、第2四半期は166百万円増**



※「BlueMemeデジタルエージェントサービス」は、これまで当社が研究開発を進めてきた「デジタルレイバー」を基盤とするサービス名称です。

© BlueMeme Group

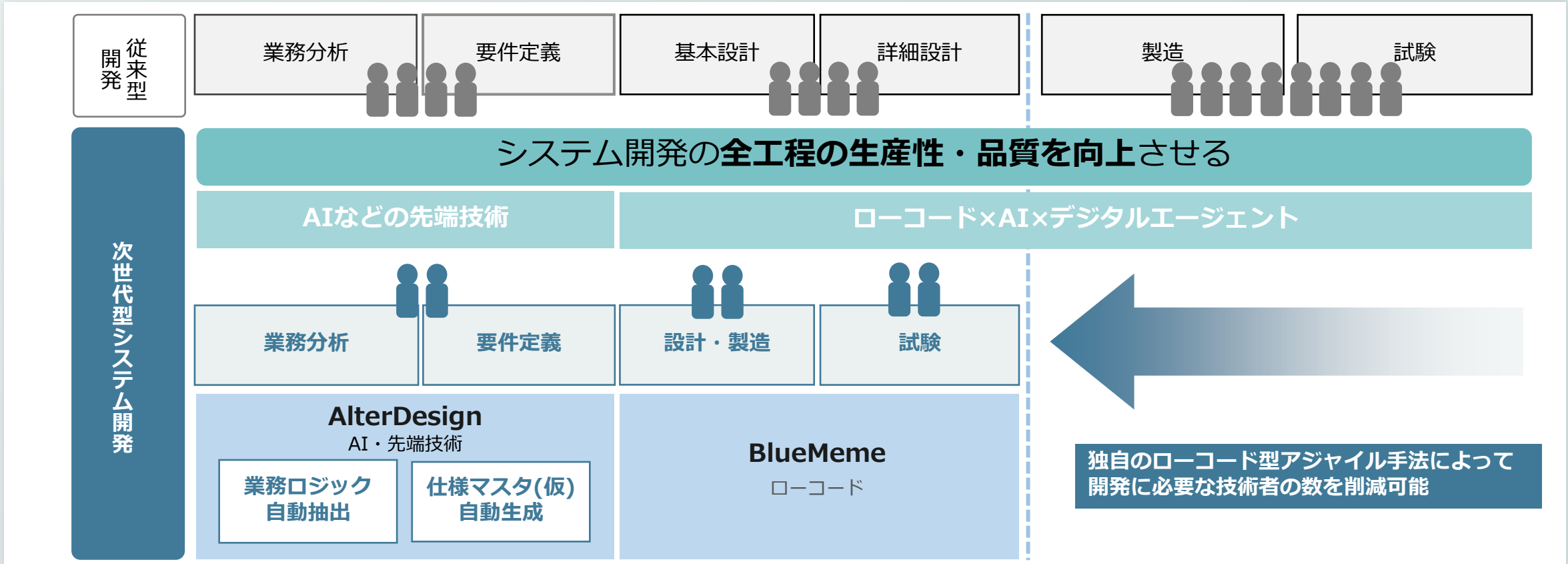
3 事業拡大に向けた戦略

bluememe

© BlueMeme Group

今後はローコード×AIを主体とした強固な事業基盤を構築

- **設計・製造・試験領域**では、当社の強みである**ローコード×AI×デジタルエージェント**を最大限に活用し、着実な事業成長を目指す
- **業務分析・要件定義領域**では、**AIの先端技術を活用した新たな課題解決手法・コンサルティングの提供**を拡大する
- 当社子会社「AlterDesign」はすでに、**「ブラックボックス化」を解決し得る「業務ロジック等を自動抽出するコア技術」**を開発



© BlueMeme Group

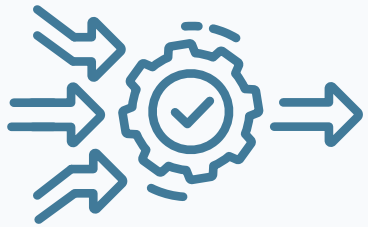
大手SIer TDIと資本業務提携、AI×ローコードで事業規模を拡大

- **2026年4月、独立系大手SIerであるTDI株式会社（旧商号：情報技術開発株式会社）との資本業務提携契約締結**
- **ローコード事業の拡大、AIを活用したレガシーシステム刷新、量子AI・バイオ領域への投資を軸とした高成長領域での協業推進**
- **両社の顧客基盤・開発体制を活用したDX支援力強化および案件創出の拡大**



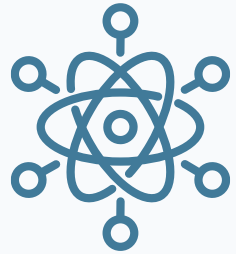
ローコード事業の拡大

TDIの大手顧客基盤とBlueMemeの
ローコード開発力を融合した案件拡大・
デリバリー強化・人材育成推進



AI活用のレガシー刷新

生成AIを活用したレガシーシステムの
コード自動解析・自動変換による、
高効率・高収益なDX市場開拓



量子AI・バイオ投資

量子AI×バイオインフォマティクス
領域への共同投資を通じた、中長期
成長事業創出および技術優位性確立

3つの領域を軸に、より迅速な事業規模の拡大と広範な技術領域への対応を実現

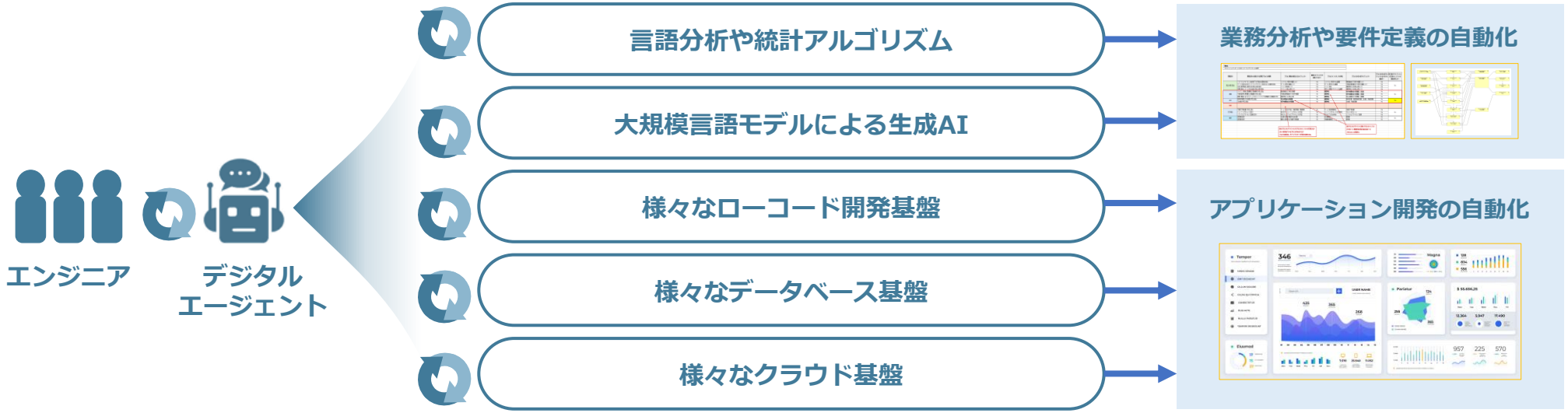
© BlueMeme Group

生産性を飛躍させるBlueMemeデジタルエージェントサービス

- 従来、各種資料でご説明してきた「デジタルレイバー」技術を、サービス化にともない「デジタルエージェント」に名称変更
- 同技術により技術者は**生成AIやローコードの学習コストを削減**しつつ、**システム開発の生産性を飛躍的に向上させることが可能**
- IT開発における生産性だけでなく、人口減少が進む日本の社会課題の解決にも寄与すると自負

デジタルエージェントによる開発生産性の向上

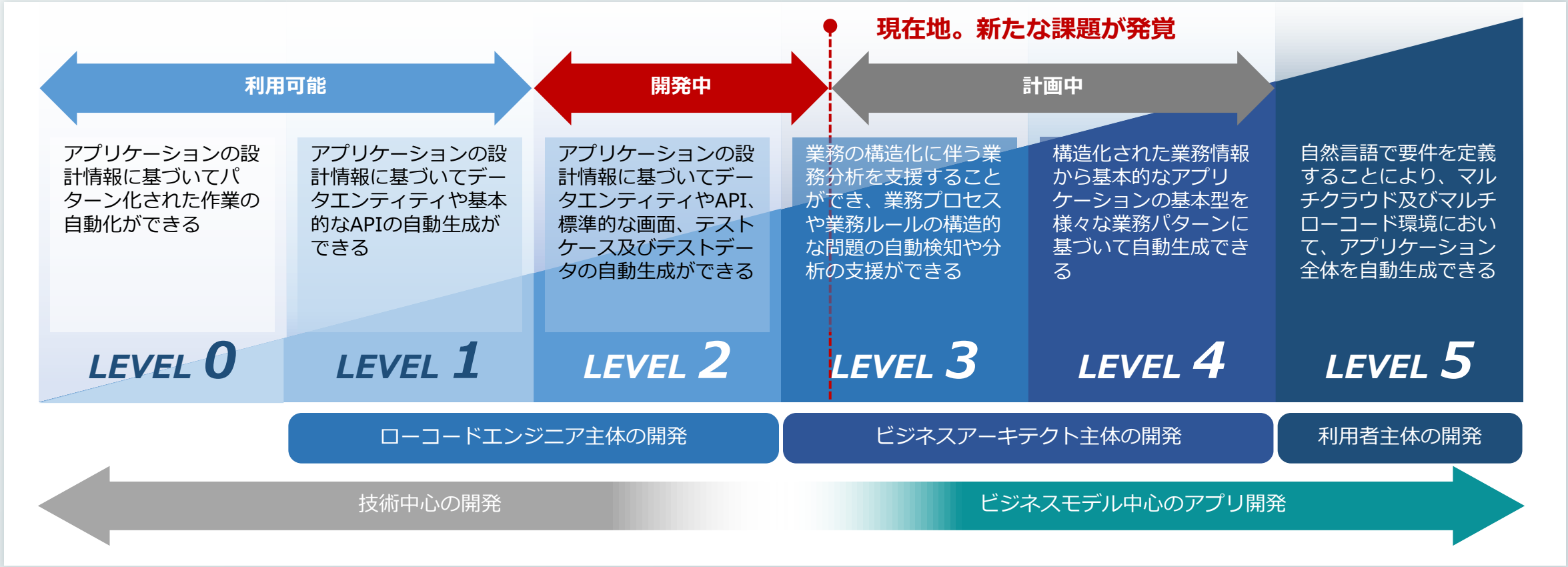
生成AI、ローコード、データベース、クラウド基盤を活用し、要件定義からアプリケーション開発までを支援



© BlueMeme Group

デジタルエージェントの開発状況と、「ブラックボックス化」の壁

- デジタルエージェントは実案件への適用による**LEVEL2とLEVEL3部分の開発を継続中**
- **LEVEL**3の目標のひとつである「業務の構造化に伴う業務分析」が、**レガシーシステムのブラックボックス化等により阻害**される
- **モダナイゼーションだけでなく、同開発においても「業務ロジック」等の企業資産の抽出化が極めて重大な課題**であると再認識



bluememe MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS © BlueMeme Group

「ブラックボックス化」を解消するためには、新たな課題解決策が必要

- 経済産業省のレポートは、**ユーザー企業の協力が得られないことがモダナイゼーションの高難度化の要因**のひとつと指摘
- しかし、その**本質的な課題は業務システムのブラックボックス化**であり、ユーザー企業単独での解消は極めて困難
- 当社はユーザー・ベンダー双方の障壁を解消するため、**既存システムから業務ロジック等を抽出するコア技術の開発**を開始

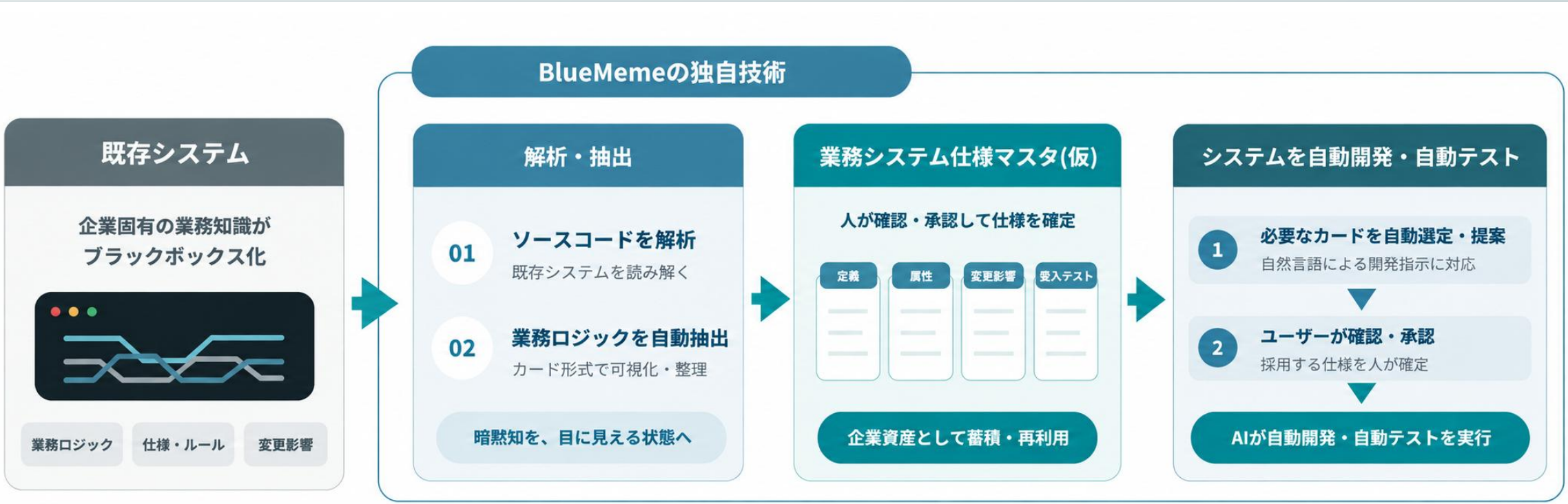


出典：経済産業省・IPA「レガシーシステムモダン化委員会総括レポート」（2025年5月）をもとに作成

© BlueMeme Group

業務ロジック等を自動抽出する、当社独自のコア技術

- **既存システム**を解析することで、数十年分の**業務ロジック等を自動抽出するコア技術**の開発に成功
- 同技術は、**結論・根拠・適用範囲・例外・テスト・承認・変更の来歴を結びつけた記録群**を「業務システム仕様マスタ(仮)」として保存
- ユーザーが求めるシステムを自然言語で入力すると、**AIエージェントが自動開発・テストまでを一貫して行う**



出典：経済産業省・IPA「レガシーシステムモダン化委員会総括レポート」（2025年5月）をもとに作成

© BlueMeme Group

4

2027年3月期 通期業績予想

bluememe

© BlueMeme Group

通期業績予想

- **2027年3月期は経営改革・ガバナンス強化等に注力し、売上・利益は減少を見込み**
- **上期の売上高は通期計画の52.2%で、計画どおりに進んできた**
- **一方、利益はまだ出ておらず、下期に備えて先行投資を行い、販管費を抑えなかったためである**

単位：百万円

	2027/3期 Q2実績	2026/3期 Q2実績	対前期 増減率	2027/3期 通期予想 （2026年9月公表）	進捗率	2027/3期 通期予想 （変更なし）
売上高	1,358	1,700	▲20.1%	2,600	52.2%	2,600
営業利益	▲71	105	―	30	―	30
経常利益	▲69	104	―	30	―	30
親会社株主に帰属する当期純利益	▲507	63	―	▲400	―	▲400

bluememe MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS © BlueMeme Group

5 取組施策

bluememe

© BlueMeme Group

OutSystems Partner Summit Japan 2026にて「New Logo Partner of the Year」を受賞



アワードの概要

・ **「New Logo Partner of the Year」とは：**

2025年のOutSystems新規ライセンス獲得数が、国内パートナーの中で第1位となった企業に贈られるアワード

・ **評価されたポイント：**

ローコード開発の高度な専門知識とOutSystems社との強固な連携体制を強みに、高度な技術力と提案力で新規顧客開拓を進め、日本市場でのOutSystemsビジネスの拡大とお客様のDX推進に高く貢献した点が評価されました

BlueMemeの実績

180社以上
ローコード製品の累計導入実績

5,500件以上
ローコードを活用したサービスの提供実績

6,200名以上
OutSystems技術者の育成実績

（注）実績は2026年10月時点

© BlueMeme Group

JST「産業・科学革新人材事業（INSIGHT）」の新規採択プロジェクトに参画

採択の概要

・採択内容
JST「産業・科学革新人材事業（INSIGHT）」※の2026年度新規採択プロジェクトで、九州大学 生体防御医学研究所（研究開発リーダー：長﨑 正朗教授）が主導し、当社が参画する研究開発課題が採択された。

・研究開発テーマ
「生成AI-Readyにおけるバイオメディカル情報解析基盤および最先端の情報解析技術開発と人材育成」

・九州大学の研究基盤
国内規定に準拠したセキュア情報解析基盤「OASIS」を構築・運用。世界初のヒト遺伝子を網羅するハプロタイプ辞書等のデータベースを開発し、量子機械学習の先進技術を保有。

主な取組

・生成AI-Readyな解析基盤・AIエージェントの開発
ゲノム・オミクス解析の代表的なワークフローを対象に、データ前処理、解析実行、結果解釈、記録・再現性確保を支援するローコード部品およびAIエージェントのプロトタイプを開発・実証する。

・相互クロスアポイントメントによる人的交流
当社のエンジニアを大学へ派遣し、プロトタイプ開発を共同で実施。大学側人材の企業受入も組み合わせ、実践的な研究開発経験を提供することを目指す。

・実践的教育プログラム・リスキリングの展開
博士後期課程学生や若手研究者等にとどまらず、当社等の企業技術者や社会人を対象に、リスキリング講座やインターンシップを共同で開発・開講する。将来の国際共同研究を見据え、英語での研究発表や研究インテグリティ等に関する研修も設計する。

当社が目指す4つの価値創出

1. **生成AI／AIエージェント活用の新たな事業機会の探索**
2. **高付加価値領域に対応できるローコード人材の育成**
3. **大学の最先端研究成果を活かしたサービス・教育コンテンツの開発**
4. **クロスアポイントメントを通じた産学双方での人材流動・OJT**

研究開発・実装・人材育成を一体化した体制を確立し、国費支援終了後も自律して継続するエコシステム構築を目指す

※ INSIGHT：産業界とアカデミアが連携して研究開発と人材育成を一体的に推進し、人材流動の促進や大学の改革を通じて持続的な体制の構築を目指す、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業

bluememe MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS © BlueMeme Group